

2024年11月6日
公立大学法人 国際教養大学
株式会社日南
テクノプラン株式会社

国際教養大学、日南、テクノプランが連携協定を締結 デザイン思考とAIの活用で、地域の課題解決と産業振興に寄与

公立大学法人 国際教養大学（所在地：秋田県秋田市、理事長・学長：モンテ・カセム）、株式会社日南（所在地：神奈川県綾瀬市、代表：堀江 勝人）、テクノプラン株式会社（所在地：東京都中央区、代表取締役：溝邊 有）は、それぞれが保有する知的資源や人的資源等を有機的に活用し、人材育成や産学連携を推進するため、連携協定を本日締結します。

■連携の目的

本協定は、国際教養大学の学術的リソースを基盤に、日南社とテクノプラン社の知的財産と専門技術を結集し、課題解決を起点とした国際的な共創事例を学びながら、デザイン思考やAI（人工知能）等の最新技術を活用して、サービスデザインやビジネスアイデアを創出できる人材を育成し、地域の課題解決や産業振興に寄与することを目的としています。

日南社は、1970年の創業以来培ってきた製品試作の技術に加え、AIやVRといった最先端技術を取り入れ、さまざまな分野での試作開発サービスを提供しています。開発から試作、社会実装に至るまでのファシリテーションを含む総合的な力を備え、豊富な経験と実績に基づき、数多くのプロジェクトにおいて革新的な開発支援を行ってきました。

テクノプラン社は、モビリティの開発から生産（量産）に関する高度な知識を有し、国内事業に加え、スリランカを含む途上国における電動モビリティの開発と現地実装に注力しています。創業当初から、国内外問わず多様なステークホルダーと共創するビジネスを強みとし、持続可能な次世代モビリティの開発や再生可能エネルギーの活用を推進しています。また、離島など地方におけるモビリティ導入や社会実装の支援にも力を入れており、幅広い分野で地域課題の解決に貢献しています。

本協定により、学生と企業が共に学び合い、大学の枠組みを通じて地域課題に触れることで、双方に新たな視点と価値が生まれます。三者が連携することで、最先端技術のみならず、製造現場や課題を抱える多様なステークホルダーとつながり、イノベティブな事業を共に推進し、社会貢献と地域の持続可能な発展に寄与します。デザイン思考やAI、VR、XRといった技術を活用し、実践的な課題解決力を備えた次世代のリーダー育成に取り組んでまいります。

■連携の内容

- (1) 人材育成に関すること
- (2) 共同研究や共同実証実験の推進に関すること
- (3) その他三者が必要と認める事項に関すること

■具体的な活動について

(1) 人材育成に関すること

1. オープン・フォーラム

連携協定締結式後に実施します。

日 程	2024年11月6日（水）	
場 所	国際教養大学 D棟1階 D101	
参加者	国際教養大学生、地域企業等 30名程度	
時 間	12：00- 13：30	<p>テーマ「With AI –AIと創るクリエイティブ超創作術」</p> <p>1. 挨拶 国際教養大学 学長 モンテ・カセム</p> <p>2. 講演 株式会社日南 取締役・デザイン本部長 猿渡 義市（エンド ギイチ）</p> <p>生成AIの登場によってプロダクトデザインやサービスデザインはどのように変革したのか？AIの登場は、地方の課題解決にどう役立つか？ これからのキャリア形成には欠かせないAIとの協働、それがもたらすイノベーションについてデモンストレーションを行います。</p>

2. ワークショップ（全4回）

実際にAIを活用した実践ワークショップを実施します。

テーマ	<p>「モビリティ」を地方再生のキーワードに、地方の課題に焦点を当てます。モビリティを核に解決策を考案し、モビリティに基づいたビジネスのエコサイクルをデザインすることを目標とします。</p> <p>学生は、最新の生成AI「GPT-4o」（または開催時の最新版）を活用し、デザイン思考のプロセスに基づいた市場分析やユーザー行動分析をより高速に、精度を高めることで、地域の課題を解決できるようなビジネスアイデアの創出にチャレンジします。</p>
場 所	国際教養大学
参加者	国際教養大学生 20名程度
コーディネーター	中川 秀幸（国際教養大学 グローバル・ビジネス領域 准教授）
講 師	株式会社日南 猿渡 義市／テクノプラン株式会社 竹内 綾
日 程	<p>第1回 2025年1月10日（金）「オリエンテーションとアイデア発掘」</p> <p>プログラムの目的と流れを説明した後、チームビルディングを行い、ツールの基本操作を体験。地域課題に対する初歩的なアイデア出しワークショップを実施し、他チームとのフィードバックを通じて理解を深めます。</p>

	<p>第2回 1月17日(金) 「開発フローとアイデア具現化」 開発ツールを活用しながら、テーマに沿った具体的なアイデアの構築に挑戦。AIやVRを駆使して、地域課題に即したソリューションをビジュアル化し、チームごとに初期発表を行います。</p> <p>第3回 2月14日(金) 「プロジェクトの具体化とプランニング」 初期アイデアを基に課題をグループ化し、プロジェクトとしての具体化を進めます。チームごとにプロジェクトの詳細を計画し、ブラッシュアップを通じて提案を磨き上げ、最終発表に向けた準備を行います。</p> <p>第4回 2月21日(金) 「最終成果発表」 各グループが最終提案をプレゼンテーションし、講師や他のグループからのフィードバックを受けます。成果をブラッシュアップした後、プロジェクト内容をウェブサイトやYouTubeに公開する準備を行い、活動の広報にもつなげます。</p>
--	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

(2) 共同研究や共同実証実験の推進に関すること

ワークショップで創出されたプロダクトデザインやビジネスアイデアに基づいて、共同研究や実証実験の可能性を探ります。

【本件に関するお問い合わせ】

公立大学法人 国際教養大学

担当：応用国際教養教育推進課 地域連携チーム 山野井・原田

TEL：018-886-5835 Email：aiu.collaboration@gl.aiu.ac.jp

株式会社日南

担当：猿渡 義市

TEL：0467-78-8891 E-mail：g-endo@h-nichinan.co.jp

テクノプラン株式会社

担当：竹内 綾

TEL：090-5890-3681 E-mail：aya@technoplan.global